

## 彩人旬人

## 「Eプレゼンス」代表・川北睦子さん /三重

毎日新聞 2016年10月23日 地方版



川北睦子さん

**「輝く女性」の育成支援 川北睦子さん（49）**

IT（情報技術）や女性の力を活用し、中小企業のウェブ戦略を支援するコンサルティング会社「Eプレゼンス」を経営する川北睦子さん（49）＝四日市市＝が今秋、女性起業家を育成する「ウーマン起業塾よっかいち2016」を開講した。「働きたいのに一歩、踏み出せない女性たちに、キャリアやスキルを生かして輝いてもらいたい」との思いで行動に出た。人材不足に悩む地元企業へスキルを持った女性を即戦力として派遣する事業展開も進めていく方針だ。【安藤富代】

新たな挑戦は、自らの起業体験が出発点にある。短大の建築学科を卒業後、設計事務所勤務などを経て、結婚後に1級建築士の資格を得

た。

出産を機に一時離職。CAD（コンピューター利用設計システム）で在宅勤務をしながら再就職を模索したが「多忙で時間外勤務の多い建築業界では子育てとの両立が難しい」と断念した。

ホームページ作成を学んでウェブ業界に転進。2004年に「Eプレゼンス」を起業した。14年、個人事業主から株式会社化し、子育て中の母親らとネットワークを組んだ。在宅ワーカーとして登録し、仕事を分担する仕組みを作った。

その原動力は「私自身、せっかく取った1級建築士の資格を生かせなかったという思い」だ。出産や子育てで離職する女性は少なくない。スキルがあるのに社会で活用できていなかったり、子育ても大切にしながら働きたいとの欲求に応える場がなかったり、女性たちのくすぶる姿が、かつての自分と重なったのだ。

9月に開講したウーマン起業塾では、四日市市内で起業したばかりか、起業を検討している女性ら24人が受講。自分の特長や強みを明確化することから始めた。「できることを認め、磨き、その上で人の役に立ち、自分が幸せになるビジネスを考える。世の中のニーズや他人のためだけでは心底、動けないから」。いわく「自分ブランドを磨く」ことが、起業の成否を分けるという。

時代の風向きは変わりつつある。自らがそうであるように得意分野を生かして起業する女性が登場し始めている。その活躍は、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）やフェイスブックなどを通じて共有され、女性の起業は、働き方の選択肢の一つとして高まりつつあるという。

高校2年生の長女の子育てに奮闘中。60歳になったら、女性らの交流の場となるスナックのママに転身するのが夢だ。

---

《メモ》

## かわきた・ちかこ

四日市市出身。「Eプレゼンス」の顧客は千葉から広島まで100社を超える。1級建築士の資格を生かし、住宅建築コーディネーターとして四日市市に「すまいの相談室」を開き、住まいづくりで困っている人の相談（無料、有料）も受け付けている。

〔三重版〕

---

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。

Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.